

『マコはハルモニア・ムンディにのって踊る』(3)

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)



「今日はね、フランシスコ会の神父さんがラヴェルナへ連れていってくれるわよ。マコちゃん、ラッキーだね。」ラヴェルナはアッシジから100キロほど離れたところにある。車がないと行くにはとても難しい場所。今日は、フランシスコ会の神父さんがローマで勉強している会員たちを連れてラヴェルナに行くのでマコたちも同行させてもらうことになったのだ。

ラヴェルナの山道を奥へ奥へと進んで、車を降りてみると小鳥の大合唱だ。緑の木立に囲まれながら、耳を澄まし、緑の匂いをかいで大きく息を吸い込んだ。日本で神学を勉強したというベトナム人のトゥイ神父さんがラヴェルナについて説明してくれた。聖フランシスコが、修道会が自分の思いとは違う方向に向かっていていることに悲しみを覚えながら、キリストの苦しみにあずかりたいとその晩年に40日間の黙想をした場所。その最後に、フランシスコの手と足と脇腹に、キリストの傷と重なる聖痕を受けたのだという。しばらくすると地元の人や巡礼者たちが聖堂に集まり始めた。水曜日恒例の祈りの行列が始まるのだ。聖堂から回廊、小聖堂へと行列を組んでイタリア語の聖歌を歌う。なんて美しい祈りなのだろう、とため息が出る。

フランシスコの生涯について想いを馳せる大事な時間をこのイタリアで過ごしている。聖フランシスコはラヴェルナでキリストの受難を追体験し、そしてアッシジに戻り、死が直前に迫るのを感じながら、ダミアノ教会の庭で太陽の讃歌を読んだのだ。キリストの受難から、被造物と共に創り主を賛美する霊性の深まりへと、この道筋をどのように理解したらいいのだろう。そんな疑問を口にするとうい神父さんが言ってくれた。「フランシスコの霊性についていろんなアプローチがあるのだけど、今、三位一体論からフランシスコの霊性を理解することの大切さにみんな気づいてきたんだよ。愛の交わりの最高の表現が十字架で、この世界は神の愛のコミュニケーションから作られたんだよ。その感覚があったからフランシスコのエコロジーの霊性は一層深いものだったんじゃないかな。」

豊かな体験を胸に、帰りの飛行機に乗るために最後の晩はローマに泊まった。時間が少しあったのでバチカン大聖堂を訪ねた。希望の聖年の年にバシリカの門を感慨深くくぐる。「希望」へと歩いていく道。その扉を開ける大事な鍵を、今回の旅を通して受け取った確信がマコの中に広がっていった。



マコの大好きな西の街に戻ってきた。机の上に置いてある『ラウダート・シ』を何となく開いてみる。最後の方に、「被造物の間にある関係と三位一体」という見出しがあるのに目が止まる。吸い込まれるようにその文章を読んでいく。「こうしてすべての被造物は、創造の際に神が刻印なさった、あの三位一体的なダイナミズムを自らのものとします。あらゆるものはつながり合っており、そのことが三位一体の神秘から流れ出る、かの地球規模の連帯の霊性を育むよう、わたしたちを促すのです。」「そうか、すべてのものは繋がっているんだ！」すべてをご存知であった亡くなられた教皇フランシスコへの感謝の思いが溢れてくる。「パパ様、この本を残してくれて本当にありがとう。」三位一体とは理解し尽くせない神秘のままなのだけれど、この神秘へと、あの希望の門をくぐって招かれているのだとマコは感じるのだった。(つづく)

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口：広島教区人権擁護デスク★

受付時間 木曜日(祝日を除く) 9:00~16:00 電話番号 082-555-1127

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019 E-Mail info@social-desk.net